



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月2日

上場会社名 株式会社小森コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 6349 URL <http://www.komori.co.jp/hp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 持田 訓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松野 浩一 (TEL) 03-5608-7826
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|--------|---|--------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第1四半期 | 15,969 | △0.9 | △1,349 | — | △1,173 | — | △1,192 | — |
| 30年3月期第1四半期 | 16,114 | 8.3 | △894 | — | △464 | — | △497 | — |

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 △1,645百万円(—%) 30年3月期第1四半期 △99百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第1四半期 | △20.49 | — |
| 30年3月期第1四半期 | △8.54 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年3月期第1四半期 | 180,610 | 129,650 | 71.8 |
| 30年3月期 | 181,199 | 132,451 | 73.1 |

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 129,650百万円 30年3月期 132,451百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | — | 20.00 | — | 20.00 | 40.00 |
| 31年3月期 | — | — | — | — | — |
| 31年3月期(予想) | — | 20.00 | — | 20.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 43,500 | 1.7 | 100 | △77.1 | 200 | △84.3 | 100 | △90.9 | 1.72 |
| 通期 | 101,000 | 7.3 | 3,100 | △17.0 | 3,200 | △27.6 | 2,700 | △12.2 | 46.37 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 31年3月期1Q | 62,292,340株 | 30年3月期 | 62,292,340株 |
| ② 期末自己株式数 | 31年3月期1Q | 4,066,741株 | 30年3月期 | 4,066,721株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 31年3月期1Q | 58,225,609株 | 30年3月期1Q | 58,226,438株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成した見通しであります。実際の業績は、経済情勢、市場の動向、為替の変動等様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

決算説明会資料はTDnetで平成30年8月7日(火)に開示し、同日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | P. 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 8 |
| (追加情報) | P. 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比0.9%減少の15,969百万円となりました。地域別連結売上高の概況は次の通りであります。

地域別連結売上高の概況

(単位：百万円)

| | | 前第1四半期 連結累計期間 (29.4.1~29.6.30) | 当第1四半期 連結累計期間 (30.4.1~30.6.30) | 増減率 (%) |
|-----|-------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------|
| 売上高 | | 16,114 | 15,969 | △0.9% |
| 内訳 | 日本 | 5,029 | 6,377 | 26.8% |
| | 北米 | 922 | 888 | △3.6% |
| | 欧州 | 3,531 | 3,011 | △14.7% |
| | 中華圏 | 1,832 | 3,203 | 74.8% |
| | その他地域 | 4,798 | 2,488 | △48.1% |

日本経済は輸出が底堅さを維持し、好調な企業収益を背景に景気回復基調が継続しました。日本市場での印刷機需要は堅調で、売上高は前年同四半期比26.8%増加の6,377百万円となりました。当第1四半期では、4月にマイドームおおさかで「JP2018・ICTと印刷展」に出展し、印刷製造プロセスを「つなぐ」ことによって見える化・自動化・省力化を実現する「KP-Connect (KP-コネクト)」(KOMORIソリューションクラウド)のデモ用端末による画面操作を体験いただいたほか、デジタル印刷機「Impremia (インプレミア) IS29」の導入事例の紹介や、安定稼働・印刷品質に貢献するK-サプライ商品ならびに印刷後加工をサポートする「Apressia (アプリシア) シリーズ」の紹介等を通して多彩なソリューションを提案し受注活動を推進しました。

北米市場は雇用情勢の改善が続き、また所得税減税を背景に個人消費も好調で堅調な景気拡大が継続しました。売上高は、現地通貨ベースでは前年同四半期並みですが、為替変動の影響を受け、前年同四半期比3.6%減少の888百万円となりました。

欧州市場は経済が好調さを持続しました。一方で印刷機需要は、フランスでは前第1四半期においては設備投資促進の税制優遇措置により売上を大きく伸ばしましたが、当第1四半期はその反動減の影響が大きく、また英国ではEU離脱協議の長期化による先行き不透明感の影響を受け需要が低迷しており、欧州市場の売上高は前年同四半期比14.7%減少の3,011百万円となりました。

中華圏は輸出の増勢は鈍化しましたが賃金上昇による個人消費の拡大が景気を下支えし、景気は緩やかに成長しました。環境規制に対応した工場移転に伴う印刷機の更新需要や、高付加価値化・省力化を目的とした更新需要が高まり、売上高は前年同四半期比74.8%増加の3,203百万円となりました。

その他地域は、インドでは一昨年11月の高額紙幣廃止や昨年7月の財・サービス税(GST)などによる混乱が収まり景気の持ち直しが見られました。また、アセアン諸国の経済は総じて成長が持続しました。受注は前年同四半期並みで推移しましたが、売上高では前連結会計年度の紙幣印刷機入札案件が少なかったことにより証券印刷機で減少し、前年同四半期比48.1%減少の2,488百万円となりました。

費用面では、為替変動や品目別売上構成の違い等により、売上原価率が前年同四半期に比べ上昇しました。販売費及び一般管理費率は、主に研究開発費を中心に前年同四半期に比べ増加しました。その結果、営業損益は、前第1四半期が894百万円の営業損失であったのに比べ、当第1四半期は1,349百万円の営業損失となりました。経常損益は、前第1四半期に336百万円の為替差益であったのに対し、当第1四半期では23百万円の為替差損となり、前第1四半期に464百万円の経常損失であったのに比べ、当第1四半期は1,173百万円の経常損失となりま

した。税金等調整前四半期純損益は、前第1四半期に国内製造子会社において、退職給付制度変更に伴う退職給付費用170百万円を計上しており、前第1四半期が608百万円の税金等調整前四半期純損失であったのに比べ、当第1四半期は1,197百万円の税金等調整前四半期純損失となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益は、前第1四半期に497百万円の純損失であったのに対し、当第1四半期では1,192百万円の純損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ589百万円減少(0.3%減)し、180,610百万円となりました。資産の主な減少要因は、受取手形及び売掛金の減少9,010百万円、有形固定資産の減少487百万円等であり、増加要因は、棚卸資産の増加5,222百万円、現金及び預金の増加1,944百万円、流動資産その他の増加1,379百万円、有価証券の増加593百万円等であります。

(負債及び純資産)

当第1四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べ2,212百万円増加(4.5%増)し、50,960百万円となりました。負債の主な増加要因は、支払手形及び買掛金の増加1,766百万円、電子記録債務の増加1,057百万円、流動負債その他の増加558百万円、短期借入金の増加392百万円等であり、主な減少要因は、その他の引当金の減少771百万円、未払法人税等の減少607百万円等であります。

純資産は前連結会計年度末に比べ2,801百万円減少(2.1%減)し、129,650百万円となりました。純資産の主な減少要因は、利益剰余金の減少2,348百万円、その他有価証券評価差額金の減少561百万円であり、主な増加要因は、為替換算調整勘定の増加85百万円等であります。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の73.1%から1.3ポイント減少し、71.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第1四半期連結累計期間の業績などを踏まえ、平成30年5月11日に公表した第2四半期連結累計期間の業績予想を修正いたしました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、前回公表数値から変更しておりません。

詳細につきましては、本日(平成30年8月2日)公表の「平成31年3月期第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 43,140 | 45,084 |
| 受取手形及び売掛金 | 24,281 | 15,271 |
| 電子記録債権 | 2,317 | 2,364 |
| 有価証券 | 20,698 | 21,292 |
| 商品及び製品 | 11,822 | 14,458 |
| 仕掛品 | 7,518 | 9,858 |
| 原材料及び貯蔵品 | 8,460 | 8,706 |
| その他 | 2,293 | 3,672 |
| 貸倒引当金 | △377 | △337 |
| 流動資産合計 | 120,155 | 120,371 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 18,063 | 18,031 |
| その他(純額) | 14,707 | 14,252 |
| 有形固定資産合計 | 32,771 | 32,283 |
| 無形固定資産 | 2,071 | 2,014 |
| 投資その他の資産 | 26,201 | 25,940 |
| 固定資産合計 | 61,044 | 60,238 |
| 資産合計 | 181,199 | 180,610 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 12,251 | 14,018 |
| 電子記録債務 | 6,604 | 7,661 |
| 短期借入金 | 198 | 590 |
| 1年内償還予定の社債 | 10,000 | 10,000 |
| 未払法人税等 | 984 | 377 |
| 債務保証損失引当金 | 242 | 203 |
| その他の引当金 | 2,123 | 1,352 |
| その他 | 12,392 | 12,951 |
| 流動負債合計 | 44,796 | 47,154 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 3,145 | 3,031 |
| 引当金 | 150 | 140 |
| その他 | 655 | 633 |
| 固定負債合計 | 3,951 | 3,805 |
| 負債合計 | 48,748 | 50,960 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 37,714 | 37,714 |
| 資本剰余金 | 37,788 | 37,788 |
| 利益剰余金 | 59,730 | 57,382 |
| 自己株式 | △5,057 | △5,057 |
| 株主資本合計 | 130,177 | 127,828 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,623 | 4,062 |
| 為替換算調整勘定 | △959 | △874 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,389 | △1,366 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,274 | 1,821 |
| 純資産合計 | 132,451 | 129,650 |
| 負債純資産合計 | 181,199 | 180,610 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 16,114 | 15,969 |
| 売上原価 | 11,227 | 11,301 |
| 割賦販売未実現利益戻入額 | 0 | 0 |
| 売上総利益 | 4,887 | 4,669 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,782 | 6,018 |
| 営業損失(△) | △894 | △1,349 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 16 | 20 |
| 受取配当金 | 154 | 151 |
| 為替差益 | 336 | — |
| その他 | 107 | 85 |
| 営業外収益合計 | 615 | 258 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 15 | 14 |
| 手形売却損 | 9 | 25 |
| 為替差損 | — | 23 |
| 損害賠償金 | 134 | 11 |
| その他 | 25 | 7 |
| 営業外費用合計 | 184 | 82 |
| 経常損失(△) | △464 | △1,173 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 0 |
| 投資有価証券売却益 | 29 | — |
| 特別利益合計 | 29 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 24 |
| 固定資産除却損 | 2 | 0 |
| 退職給付費用 | 170 | — |
| 特別損失合計 | 172 | 24 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △608 | △1,197 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 151 | 213 |
| 法人税等調整額 | △262 | △218 |
| 法人税等合計 | △110 | △4 |
| 四半期純損失(△) | △497 | △1,192 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △497 | △1,192 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △497 | △1,192 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 221 | △561 |
| 為替換算調整勘定 | 109 | 85 |
| 退職給付に係る調整額 | 67 | 23 |
| その他の包括利益合計 | 398 | △453 |
| 四半期包括利益 | △99 | △1,645 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △99 | △1,645 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。